

電気通信大学 平成20年度シラバス

| | | | |
|---------|--------------|----------|-------|
| 授業科目名 | 力学第二 | | |
| 英文授業科目名 | Mechanics II | | |
| 開講年度 | 2008年度 | 開講年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 後学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | 講義 | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 専門科目-専門基礎科目- | | |
| 開講学科・専攻 | 知能機械工学科 | | |
| 担当教官名 | 明 愛国 | | |
| 居室 | 東4-504 | | |

| | |
|----------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| | |

| |
|---|
| 【主題および達成目標】 |
| <p>力学は物理学の中でも最も早く理論体系が確立された学問であり、色々な物体の運動を理解する上で重要な学科目です。特に、機械工学系の学生にとってはさらに専門的な材料力学、熱力学、流体力学や機械力学等を理解して、自動車、航空機、鉄道車両、工作機械、ロボットなど実際の機械の運動を力学的に取り扱い、設計に適用するための基礎となります。そのため、授業ではできるだけ演習を取り入れ、実際に問題を解いて力学的な問題に対する理解力を身につけることを目的とします。</p> |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 力学第一、力学第一演習 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| |

| |
|----------------------|
| 【教科書等】 |
| 教科書：高木隆司著『力学II』（裳華房） |

| |
|--|
| 【授業内容とその進め方】 |
| <p>モデルとして質点系と剛体の力学を取り扱い、毎回の授業の講義のあとに演習を実施して、次回の初めに提出された解答の評価と演習問題の解答を説明する。授業の内容は以下の通りです。</p> <p>前半 質点系の運動(2個の質点、多数の質点)</p> <p>中間試験</p> <p>後半 剛体の運動(つりあい、回転運動、回転と移動を含む運動)</p> <p>期末試験</p> |

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

原則として、中間試験、期末試験と出席、授業態度で評価するが、毎回の演習結果も評価の参考とする。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話、メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

力学第二は力学第一とともに物理学の基礎として、また2年次以降の機械工学系の専門科目を理解する上での基礎として大変重要な科目です。とにかく、毎回出席して、授業を聞き、演習問題を十分理解するように勤めてください。

【その他】